

Ⅶ. 評価業務

1. 評価委員会

外部及び内部委員による研究事業の評価制度（研究事業評価委員会、工業分野研究評価分科会、内部評価検討会）により評価を受けた。

1-1 研究事業評価委員会

目的・役割	連携プロジェクト研究の事前・途中・事後評価と、各分野研究評価分科会の評価結果の確認及び経常研究に対する助言を行う。
委員	吉村 進 長崎総合科学大学 客員教授 小路 武彦 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 内田 澄生 三菱重工業株式会社 技術総括本部総合研究所 副所長 岡本 正弘 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 所長 奥 真美 首都大学東京都市教養学部 教授 小島 清路 あつた国際特許事務所 所長 坂本 満 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター 所長 征矢野 清 長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究所附属環東シナ海環境資源 研究センター センター長 高杉美佳子 九州産業大学工学部物質生命化学科 准教授
期日・場所	○第1回研究事業評価委員会 日時：平成27年7月28日 場所：ホテルニュータнда ○第2回研究事業評価委員会 日時：平成27年10月16日 場所：ベストウエスタンプレミアホテル長崎
内容 (窯業技術センター 分を記載)	工業分野研究評価分科会の調査・審議に関する結果報告を踏まえ評価・助言を行う。
出席者	佛田 正博、阿部 久雄、秋月 俊彦、永石 雅基、狩野 伸自

1-2 工業分野研究評価分科会

目的・役割	内部評価検討会後の新規経常研究と平成26年度終了の経常研究について、外部委員による評価と内容の磨き上げ、進捗に関する助言を行う。
委員	池上 国広 長崎総合科学大学 副学長 中江 道彦 佐世保工業高等専門学校 教授 石松 隆和 長崎大学工学部 教授 山下 敬彦 長崎大学 副学長 大神 吉史 大新技研(株) 取締役副社長 林田眞二郎 長工醤油味噌協同組合 顧問 松尾 慶一 白山陶器(株) 代表取締役社長
期日・場所	日時：平成27年9月3日 場所：長崎県工業技術センター
内容 (窯業技術センター 分を記載)	事後研究課題及び平成27年度新規研究課題の評価 ①（事前）製品のカラフル化に対応する釉薬の多色化技術の研究 ②（事前）高齢者の生活特性に配慮した商品開発手法の構築 ③（事前）機能性素材を活用した水質浄化装置の製品化に関する研究 ④（事前）機能性を有する遠赤放熱部材の製品化

	⑤（事後）低炭素社会対応型陶磁器素材の開発 ⑥（事後）中国・アジア市場に向けた新世代家庭用食器の開発
出席者	佛田 正博、阿部 久雄、永石 雅基、久田松 学、武内 浩一、秋月 俊彦、桐山 有司 吉田 英樹、山口 典男、狩野 伸自、河野 将明、依田 慎二

1-3 研究事業評価内部検討会（工業分野）

目的・役割	新規の研究課題について、内部委員による意見交換を行い、その内容をもとに研究機関長が自己評価を行う。
委員	岡 高廣 産業政策課 主任主事 櫻井 毅 食品産業・産地振興室 室長 入江 直樹 グリーンニューディール推進室 主任技師 早川 成喜 長寿社会課 課長補佐 貞方 学 企業振興・技術支援課 課長
期日・場所	日時：平成 27 年 6 月 16 日 場所：県庁
内容 (窯業技術センター分を記載)	①（事前）製品のカラフル化に対応する釉薬の多色化技術の研究 ②（事前）高齢者の生活特性に配慮した商品開発手法の構築 ③（事前）機能性素材を活用した水質浄化装置の製品化に関する研究 ④（事前）機能性を有する遠赤放熱部材の製品化
出席者	佛田 正博、阿部 久雄、秋月 俊彦、永石 雅基、久田松 学、桐山 有司、武内 浩一、 吉田 英樹、山口 典男、狩野 伸自、河野 将明

2. 県有特許権等取得活用審査会

目的・役割	県研究機関職員の職務発明のうち、産業技術課の所管に係る特許権、実用新案権等の審査請求、更新または処分について審査を行う。
委員	貞方 学 企業振興・技術支援課 課長 川崎 仁晴 佐世保工業高等専門学校 教授 森崎 克朗 (社)発明協会長崎県支部 知的財産活用推進員 植田 勝征 (公財)長崎県産業振興財団 技術統括
期日・場所	○第1回 日時：平成 27 年 8 月 7 日 場所：大波止ビル ○第2回 日時：平成 28 年 2 月 16 日 場所：長崎県工業技術センター
内容 (窯業技術センター分を記載)	○第1回 ①レバーハンドル錠 ②ユニバーサルデザイン包丁 ③遠赤外線高放射皮膜により冷却効果を高めたアルミニウム基材及びその製造法 ○第2回 ①陶磁器製品用抗菌剤の製造方法 ②抗生物質徐放機能を有する有機無機複合材料とその製造方法
出席者	阿部 久雄、桐山 有司、山口 典男、狩野 伸自